

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2016. 10. 24

下水道機構の『新技術情報』 第256号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

ご存知のように10/21(金)に鳥取県で最大震度6弱の地震が発生しました。およそ600人が避難所で生活をされているとのこと。被災された被災された皆さまへお見舞い申し上げます。報道によると学校の校舎などでも被害が出たようですが、各自治体の教育委員会が簡易トイレを設置するなど復旧作業を進め、鳥取県内では8つの学校を除き今日から通常通り授業を再開できるとのことでした。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第256号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・「下水道処理場の高度処理施設における土木構造物の劣化に関する現地調査業務」の受託事業者を公募しています
- ・10月の技術サロンは、FS Techno Lab 代表 仙波不二夫氏をお迎えして開催しました

■機構の動き

- ・今週は、10/25(火)に第1 審査証明委員会、10/27(木)に新技術研究発表会(大阪会場)、第4 審査証明委員会を、10/28(金)に第2 審査証明委員会を開催します

■Tea Break

- ・歩く(研究第一部 N.Tさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、10/5付で就任しました塩路参与をご紹介します！

■国からの情報

- ・10/21付下水道ホットインフォメーション

●「下水道処理場の高度処理施設における土木構造物の劣化に関する現地調査業務」の受託事業者を公募しています！

公募締め切りは平成 28 年 10 月 28 日（金）です。

※詳細はこちら

<http://www.jiwet.or.jp/news/%ef%bd%a2%e4%b8%8b%e6%b0%b4%e9%81%93%e5%87%a6%e7%90%86%e5%a0%b4%e3%81%ae%e9%ab%98%e5%ba%a6%e5%87%a6%e7%90%86%e6%96%bd%e8%a8%ad%e3%81%b%e3%81%8a%e3%81%91%e3%82%8b%e5%9c%9f%e6%9c%a8%e6%a7%8b%e9%80%a0>

●10月の技術サロンは、FS Techno Lab 代表 仙波不二夫氏をお迎えして開催しました  
今回のテーマは「下水道管路イノベーション - 100年下水道構築に向けて-」でした。

仙波氏は、昭和45年に羽田ヒューム管（株）に入社され、以降、同社の生産技術本部生産部長、（株）ハネックスに社名変更後は、総合企画室室長、情報通信事業部副事業部長を経て、平成14年同社の代表取締役社長に就任されました。また、在職中には、全国ユニホール工業会会長、全国ヒューム管協会会長を歴任されております。平成26年には合併会社ゼニス羽田（株）の顧問に就任、今年3月に退社され、現在はFS Techno Lab 代表として下水道に関わる研究を続けられています。

講演内容は、下水道管きよの老朽化に起因する道路陥没が社会問題となるなか、道路陥没のメカニズムや管材の劣化に関する実態の把握と分析、また、革新的な技術による対策の検討を行い、管きよの劣化による事故が発生しない安全性や長期供用に耐え得る機能性を有する「100年下水道構築」に向けて、仙波氏の長年の経験と研究に基づきご提案をいただきました。

管路の劣化による陥没事故の3/4は取付管箇所が関係していることから、横引きマス方式によりマンホール接続を行うことで構造的な改善を図ること、また、本管については推進工法での施工により地盤変動の影響を受け難い安定した管路構築のご提案のほか、管路の粗度係数の考え方や腐食対策技術に関する知見等についてもご紹介いただきました。

さて、次回のサロンは、11月10日（木）17:00から18:00での開催となります。ゲストは埼玉県下水道局下水道事業課 エネルギー担当主幹 井上昌樹氏をお迎えして、「埼玉県の下水道資源有効活用の取組と水素事業の検討状況」をテーマに開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております！

お申し込みは機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

●日 時：平成28年10月27日（木）13:00～16:45（受付12:30～）

行 事：第22回新技術研究発表会【大阪会場】

場 所：大阪市西区 大阪科学技術センター

※大阪会場は定員に達したため募集を締め切りました

○平成 28 年 11 月 10 日(木) 17:00~18:00

行 事 : 第 353 回技術サロン

場 所 : 機構 8 階 中会議室

ゲスト : 埼玉県下水道局下水道事業課 エネルギー担当主幹 井上昌樹氏

テーマ : 「埼玉県の下水道資源有効活用の取組と水素事業の検討状況」

※お申込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

○日 時 : 平成 28 年 11 月 18 日(金) 13:00~16:45 (受付 12:30~)

行 事 : 第 65 回下水道新技術セミナー【東京会場】

場 所 : 東京都港区 発明会館

テーマ : 「下水道事業における P P P 事業の導入について」

※お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

○日 時 : 平成 28 年 11 月 25 日(金) 13:00~16:45 (受付 12:30~)

行 事 : 第 65 回下水道新技術セミナー【大阪会場】

場 所 : 大阪府中央区 難波御堂筋ホール

テーマ : 「下水道事業における P P P 事業の導入について」

※お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

---

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●歩く (研究第一部 N.T さんからの投稿です)

急に暑さが和らいだと思ったら、また、暑くなるなど四季を感じる 때가少なくなってきたと思うこの頃です。みなさんも、体調管理には十分気を付けてください。

さて、先日、奥多摩湖から奥多摩駅まで、むかし道とよばれるところを歩いてきました。案内板もあり、ある程度道の整備はされていますが、山越え、公道? と思えるような民家の軒下を通り、人がやっと歩けるような細い道やひざ下くらいまで生い茂る草の中の道など起伏にとんだ面白いところです。途中、線路やトンネルなどが残る廃線跡もあり楽しく (実は、辛いかも?) 歩けるところです。職業柄、そういうところへ行くと、ついつい足下を見てしまうものです。そう、あの丸い蓋です。家が数件しかない山の中でもポンプの配電盤とマンホールがありました。生活には欠かせない存在を改めて感じさせられました。自然や文化、歴史を感じながらまた歩きたいものです。

---

。○○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○○。

●今回は、10/5 付で就任しました塩路参与をご紹介します！

→ <http://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2016-10-24>

\*\*\*\*

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



[jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、

掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

\*\*\*\*

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2016. 10. 21 付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 岩崎宏和

=====

本日、鳥取県を震源とする地震がありました。下水道施設の被害状況については、現在確認中ということです。

先週は、京都府の雨水タンク助成制度の PR 動画を紹介しましたが、東京都の課長さんより、品川区に派遣されていた際に、雨水タンクが特に保育園で好評で、保育園の先生が、花に水をあげたりしながら、水の大切さだけでなく、植物が育つ様子を見せたりなど、園児への教育に活用していたという情報を頂きました。このような取り組みが増えていけばと思います。なお、品川区では、雨水利用タンク、防水板、雨水浸透、の3点セットで助成制度が運用されているとのこと。

<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/page000003900/hpg000003881.htm>

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○上下水道コンセッション事業の推進に資する支援措置（2次補正予算）の募集開始について（内閣府、国土交通省）

○「水素社会における下水道資源利活用検討委員会」を開催します（下水道企画課）

○下水道関係「ガイドライン」及び「パンフレット」の HP 公開（下水道企画課）

○共同研究者の募集：剪定枝等の下水汚泥焼却炉の補助燃料としての活用（国立研究開発法人土木研究所 先端材料資源研究センター）

○マンホールトイレを実演設置し PR！@北九州-中津ウオーキング大会 2016（北九州市）

〇上下水道コンセッション事業の推進に資する支援措置（2次補正予算）の募集開始について（内閣府、国土交通省）

10月19日、内閣府より「上下水道コンセッション事業の推進に資する支援措置」（2次補正予算）について、地方公共団体向け募集開始のプレスリリースがされており、下水道事業においてコンセッション事業を検討しようとする各地方公共団体におかれては、積極的に当予算の活用をご検討いただくようお願いいたします。

【支援概要】

- ・地方公共団体に対し、コンセッション事業等導入に係る検討に要する調査委託費を全額助成します。
- ・対象分野：水道、下水道、文教施設（スポーツ施設、社会教育施設、文化施設）、公営住宅
- ・対象調査：デューディリジェンス（資産評価）、官民の役割分担の検討、導入可能性調査
- ・募集期間：10月19日（水）～11月7日（月）
- ・支援の詳細につきましては、以下のURLをご確認ください。

<http://www8.cao.go.jp/pfi/shien/index.html>

〇「水素社会における下水道資源利活用検討委員会」を開催します（下水道企画課）

国土交通省では、再生可能エネルギーの一種である下水汚泥からの水素利用の普及促進を図るため、「水素社会における下水道資源利活用検討委員会」（委員長：九州大学 田島正喜客員教授）の平成28年度第1回会合を、10月24日（月）に開催いたします。

本委員会においては、下水道資源からの水素製造・利用に係る更なる先進的取組の創出を図るため、宮城県（流域）・奈良県（流域）・静岡県三島市の下水処理場を対象とする水素製造・利用事業の実現可能性調査を行うとともに、下水道管理者による事業化促進に向け水素製造技術に関するガイドライン案の検討を実施します。

<開催概要>

日時：平成28年10月24日（月）15：30～18：00

場所：日本下水道事業団 本社（湯島）701・702会議室

主な議題：

- ・関係省庁・自治体における取組状況
- ・平成28年度実現可能性調査の概要
- ・ガイドライン骨子案

※会議は公開で行われます。

詳細は以下HPをご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000467.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000467.html)

○下水道関係「ガイドライン」及び「パンフレット」のHP公開（下水道企画課）

国土交通省下水道部では業務効率化及び広報活動の一環として、国土交通省HPの改善を図っているところです。

この度、下水道関係の「ガイドライン」および「パンフレット」に関するポータルサイトを開設いたしましたので、業務の参考にしていただければ幸いです。

国交省下水道部HPのトップページ

<http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/index.html>

（右端の「基本情報」欄の上から5番目と6番目に新たなサイトを開設しました。）

ガイドラインのHP（トップページの上から5番目）

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000466.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000466.html)

パンフレットのHP（トップページの上から6番目）

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000468.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000468.html)

○共同研究者の募集：剪定枝等の下水汚泥焼却炉の補助燃料としての活用

（国立研究開発法人土木研究所 先端材料資源研究センター）

国立研究開発法人土木研究所では、「剪定枝等を下水汚泥焼却時の補助燃料として活用するための前処理システムの開発に関する研究」について、共同研究者を募集させて頂いております。

具体的な研究項目は、剪定枝等を下水汚泥焼却時の補助燃料として活用するための前処理（保管、破碎、乾燥）システムの基本設計作成です。なお、本研究成果によっては、外部資金等を活用し、更なる展開を目指すものです。

公募受付期間は、平成28年10月14日（金）～平成28年11月14日（月）となっております。

ますので、よろしく願いいたします。

詳細は、土木研究所ホームページ

<http://www.pwri.go.jp/jpn/research/joint/news/2016/1014/kyoudou.html>

をご参照下さい。

○マンホールトイレを実演設置しPR！@北九州-中津ウォーキング大会2016（北九州市）

北九州市の水源である耶馬溪導水20周年を記念したウォーキング大会の開催に合わせ、スタート地点の小倉城にてマンホールトイレを実演設置しPRします。展示だけではなく、実際に使用することも可能であり、マンホールトイレの認知度向上を図り、普及促進を一層推進します。

■開催日：10月29日（土）

■展示時間：6:30～7:30（ウォーキングは7:30スタート）

■場所：小倉北区勝山公園（大手門広場）※小倉城

■参加募集人数：3,000人程度（ウォーキング参加者）

▼北九州市のマンホールトイレ

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/suidou/s01101003.html>

▼北九州-中津ウォーキング大会 2016

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/suidou/sk00900000.html>

OGJ Journal Vol.6「中国・四国特集」発刊のお知らせ（GJリンク事務局）

GJ Journal Vol.6「中国・四国特集」が発刊しました。

GJ Journal は下水道広報プラットフォーム（GKP）ホームページ内に掲載されておりますので、是非ご覧ください（拡散可）。

<http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-journal.html>

<Contests>

・下水道女子が伝える下水道の魅力

私の下水道 ー中国・四国 GJ 編ー

・地域別特集

①お洒落は足元から 我が街のマンホール自慢

②有名人と下水道～高知編～

③まちなかの下水道～松山編～

ほか

=====

【参考情報】

◆浄化センターの沈下対策は（宮城県）〈10/20 日テレ NEWS24〉

<http://www.news24.jp/nnn/news8737300.html>

◆南部も豪雨被害、ビンズオン省で下水溝に流され少年死亡〈10/18 ベトナムニュース〉

<http://www.viet-jo.com/news/social/161018022807.html>

◆バラ70種、秋に大輪 大津の浄化センターで見頃〈10/18 京都新聞〉

<http://www.kyoto-np.co.jp/top/article/20161018000142>

◆実験、体験で環境に関心 きょうまで高岡でフェア〈10/16 中日新聞〉

<http://www.chunichi.co.jp/article/toyama/20161016/CK2016101602000046.html>

◆世界的な水不足の解決へ 日本の水処理メーカーが中韓に価格競争で負けている現実〈10/15 SankeiBiz〉

<http://www.sankeibiz.jp/macro/news/161015/mcb1610151603002-n1.htm>

◆真空トイレ、ウェアラブル、転倒防止ロボ…最新鋭の技術で介護・福祉の現場はどう変わるか？〈10/15 産経新聞〉

[http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20161015-00000502-san-bus\\_all](http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20161015-00000502-san-bus_all)

<http://www.sankei.com/premium/news/161014/prm1610140006-n1.html>

◆“自家製”浄水装置、全国研究集会で発表へ 加藤学園高化学部〈10/15 静岡新聞〉

<http://www.at-s.com/news/article/education/upper/291699.html>

◆新電力 バイオマス発電所新設へ…イーレックス / 沖縄 <10/15 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/articles/20161015/rky/00m/040/002000c>

◆加茂市のみ作成未完了新潟県内・洪水ハザードマップ <10/13 新潟日報>

<http://www.niigata-nippo.co.jp/news/local/20161013284953.html>

---

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20160531/>

---